

第79期報告書

自:平成23年4月1日 至:平成24年3月31日



僕、ZIPPEIも
ガンバリました!



株主の皆様へ

平素は格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当期の日本経済は、引き続き厳しい状況で推移しましたが、当社グループの連結決算につきましては、主たる事業であるコンテンツビジネス事業におけるテレビ広告収入や映画事業の興行収入、テレビ通販の収入が好調だったことに加え、連結子会社の(株)パップがコンテンツ販売収入を中心に増収となったことなどにより、前期比で増収、営業利益及び当期純利益において増益を達成いたしました。

また当社は、平成23年の年間及び年度の世帯視聴率において念願の三冠王を奪還いたしました。

さらに、当社グループは、益々厳しさを増すことが予想される放送事業者間の競争を勝ち抜くため、本年10月1日をもって認定放送持株会社体制に移行することいたしました。当社は、平成25年8月に開局60周年を迎えますが、今回の認定放送持株会社体制への移行を次の60年に向けた新たなスタートとし、今後もメディア・コンテンツ産業におけるリーディング・カンパニーとして発展・成長していくため「改革と挑戦」を続けてまいります。

なお、配当に関しまして、当社は、事業環境の変化に柔軟に対応できる企業体質の確立と収益基盤の強化及び積極的な事業展開のための内部留保との調和を図りながら、継続的で安定的な株主還元を行うことを基本方針としております。当期は、同基本方針に基づき決定した年間配当金290円から、すでに実施済の中間配当90円を差し引いた200円を期末配当とさせていただきます。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月



日本テレビ放送網株式会社

代表取締役
社長執行役員 大久保 好男

CONTENTS 目次

株主の皆様へ	01
認定放送持株会社化について	02
日本テレビグループ 2012経営方針	04
事業の報告	05
営業の概況	11
連結財務諸表	12
会社情報	13
東京スカイツリーに行くダベア!	14

【表紙について】僕も感無量ダベア!



ZIP!で大人気のZIPPEIもがんばりました!

日本テレビ編成局宣伝部兼ADのダベアです。皆様のおかげで、「年間・年度視聴率 三冠王」※を獲得しました!

- 全日帯(6時~24時)
 - プライム帯(19時~23時)
 - ゴールデン帯(19時~22時)
- 全三部門において視聴率No.1!
本当にありがとうございました!

認定放送持株会社化について

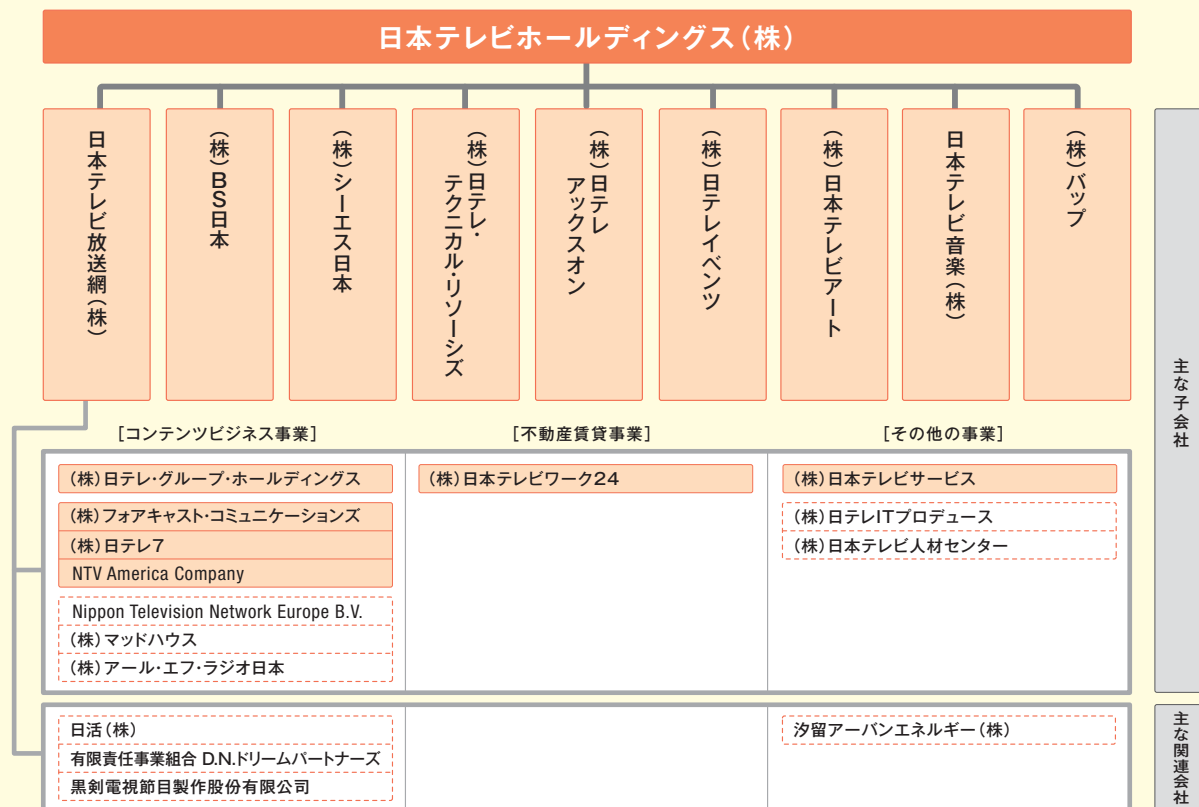
当社・(株)BS日本・(株)シーエス日本の3社は、10月1日をもって、
当社を認定放送持株会社^(註)とする経営統合を行うことにいたしました。

現在の「日本テレビ放送網株式会社」を、グループ経営管理事業を行う認定放送持株会社「日本テレビホールディングス株式会社」と、その子会社である地上放送事業会社の新「日本テレビ放送網株式会社」に分割し、(株)BS日本、(株)シーエス日本については、「日本テレビホールディングス株式会社」と株式交換を行うことで、同社の完全子会社といたします。

また、今回の移行に伴い、一部グループ会社を「日本テレビホールディングス株式会社」の直接子会社といたします。

(註)2008年施行の改正放送法で認められた制度で、認定放送持株会社の傘下に、地上波放送局(重複しない放送対象地域12まで)、BS放送局(0.5トラポンまで)、東経110度CS放送局(2トラポンまで)を同時に置くことができる制度。

日本テレビホールディングス グループ会社概要図 (平成24年10月時点)



(註) は連結子会社、 は持分法適用会社 (株)日テレ・グループ・ホールディングスは、本持株会社化に合わせて事業目的及び商号を変更する予定です。

日本テレビは、メディア・コンテンツ産業における リーディング・カンパニーとして発展・成長していくため 「改革と挑戦」を続けていきます!

当社・(株)BS日本・(株)シーエス日本の3社は、これまでも放送や番組制作、番組供給等の面で連携しつつ、各々独立した経営によって成果を挙げてきました。しかし、インターネットの台頭、技術革新によるブロードバンド化やデバイスの進化などメディアが多様化する中、視聴者のメディアへの接触行動が複雑化し、その影響によるHUTの低下、テレビ広告市場の漸減といった環境のもとで、広告(無料)・有料モデルを問わず放送事業各社の生き残りを懸けた競争が激化しています。

このような状況の中、広告放送の中核を担う地上放送、マーケットの成長著しいBS放送、有料放送として成長を続けるCS放送、これら3波一体体制によるシナジーを創出し企業価値の最大化を図るために、認定放送持株会社という制度を活用して3社が経営統合します。また、認定放送持株会社体制への移行に伴い、日本テレビグループにおいてコンテンツ制作・流通機能を有する会社のうち6社を、日本テレビホールディングス(株)の直接の子会社とすることで、「放送・メディア」と「コンテンツ制作」という日本テレビグループの二つのコア・コンピタンスの統合と強化を推進していきます。

「グループ全体の企業価値の向上」を目指して

●新体制の狙いは以下の4点です。

3波一体経営の推進により
コンテンツ価値の最大化を図ること。

コンテンツの制作力をはじめとする
グループの競争力を強化すること。

経営資源の効率的配分により、戦略機能の集約と
新規事業への積極的な挑戦を可能とすること。

適正なガバナンス体制の構築による意思決定の迅速化、
事業執行の機動性向上、経営効率の向上を図ること。



TOYOTA プレゼンツ
「FIFA クラブワールドカップ ジャパン 2011」
平成23年12月8日～18日放送 柏レイソル、世界の強豪相手に大健闘!



「ぶらぶら美術・博物館」
BS日テレ(毎週火曜日20:00～20:54放送)



「ZIP! スピンオフ 旅する犬ZIPPEI」
相棒ダイスケと絆スペシャル」
日テレプラスで放送

日本テレビグループ 2012 経営方針

当社と、(株)BS日本、(株)シーエス日本は、認定放送持株会社制度のもと、10月1日より新体制で出発することになりました。現在、新体制における中期経営計画策定を進めており、本年度は暫定的に現日本テレビグループにおける「2012経営方針」を作成しました。今後、新体制の中期経営計画は策定後速やかにお知らせいたします。

1 2012経営方針のポイント

2012年度は、下記方針のもと、積極的な事業展開を図ります。

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| (1) 報道機関としての信頼性の維持・向上 | (4) 海外における確固たるポジションの獲得 |
| (2) 人々を豊かにするコンテンツの創造 | (5) メディア企業ならではの社会貢献 |
| (3) 継続的成長を目指した変化への対応 | (6) 働く人全てが能力を発揮できる環境の醸成 |

2 「開局60年委員会」の取り組み

当社は、来年8月に開局60周年を迎えますが、それを起点とした“Next 60”に対応できる体制体質を構築すべく、社長を委員長とし取締役及び執行役員をメンバーとする「開局60年委員会」を立ちあげました。

当委員会では、上記新方針に沿い、新しい目で現在の事業・業務を見直して重点課題を洗い出しました。その結果「より効率的な業務運営を目指す業務刷新プロジェクト」「当社ブランドイメージの確立プロジェクト」「新規事業開発プロジェクト」など数多くのプロジェクトが立ち上がり、現在各チームが検討を進めています。

3 財務・配当政策

- 経営指標は「売上高経常利益率」です。2011年度は、12.4%と昨年度に引き続き2桁を確保しました。
- 配当につきましては、中長期的な観点からの安定配当を基本方針とし、還元水準の向上に努めます。

当社グループでは「2012経営方針」の着実な実行を目指して、全役員・社員が一丸となって努力いたします。株主の皆様にも、より一層のご支援・ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、「2012経営方針」のプレスリリース及び決算説明会における配布資料などは当社HPに掲載しております。下記URLをご参照ください。

<http://www.ntv.co.jp/ir/index.html>

事業の
報告年間・年度視聴率三冠王を獲得！
全日帯・プライム帯・ゴールデン帯の三部門でNo.1！

「家政婦のミタ」

平成23年10月12日～12月21日 毎週水曜日22:00～放送

当社は平成23年の年間視聴率及び年度視聴率ともに、全日帯・プライム帯・ゴールデン帯の三部門全てにおいて、在京キー局トップとなりました。年間の三冠王は平成15年以来8年ぶり、年度の三冠王は平成14年度以来9年ぶりの快挙です。トップ奪還の目標を達成した要因としては、平成18年からスタートした「タイムテーブルの構造改革」を軸に、コンテンツ力が確実にアップしたこと、そして、バラエティー・ドラマ・情報・報道・スポーツすべての分野で、日々着々と数字を積み重ねたことがあげられます。

当社は報道機関としての使命を果たすとともに、「家族や友達の真ん中にテレビがあれば」と願い、ご家族で楽しめる番組を制作してまいりました。平成23年度を振り返りますと、まず特筆すべきは、最終回到40.0%という驚異の世帯視聴率を記録した、10月期水曜ドラマ「家政婦のミタ」の大ヒットです。社会現象にもなり、テレビの価値を改めてアピールできたと考えております。同じ10月期の土曜ドラマ「妖怪人間ベム」もヒットし、このクールは連続ドラマが2本とも絶好調でした。



「妖怪人間ベム」

平成23年10月22日～12月24日 毎週土曜日21:00～放送

番組

好調なレギュラー番組! スペシャル番組も大好評!



「宝探しアドベンチャー謎解きバトルTORE!」
毎週月曜日19:00～19:54放送



「1番ソングSHOW」
毎週水曜日19:00～19:54放送



「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」
毎週水曜日19:56～20:54放送

番組個別では、視聴率獲得が環境的に厳しくなっている平日19時台の番組が、より魅力的なラインアップとなりました。月曜日の「宝探しアドベンチャー謎解きバトルTORE!」、水曜日の「1番ソングSHOW」は、視聴率の改善を果たしています。レギュラーの人気番組も好調で、火曜日「踊る!さんま御殿!!」、水曜日「1億人の大質問!?笑ってコラえて!」「ザ!世界仰天ニュース」、木曜日「ぐるぐるナインティナイン」、日曜日「世界の果てまでイッテQ!」「行列のできる法律相談所」は、高い視聴率を保っています。

その他、「24時間テレビ」「箱根駅伝」をはじめとする強力単発ソフトが成功し、「さんま&SMAP!美女と野獣のクリスマスSP」「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!!大晦日年越SP」などの恒例スペシャル番組も高視聴率を記録しました。期末期首等でのレギュラー番組の拡大や、個々の番組における制作現場のたゆまぬ努力によって、トップ奪還につながったと実感しております。



キリマンジャロからハイビジョン中継。
美しい映像が全国のお茶の間に。
写真は頂上直下の中継現場。

「24時間テレビ」34

平成23年8月20日～21日放送
テーマは「力(ちから)～わたしは、たいせつなひとり～」。

皆さんの「力」が結集し、募金総額は過去最高の19億8,641万4,252円に。番組史上最高齢70歳のランナー徳光和夫の完走や、キリマンジャロ山頂からの世界初のハイビジョン生中継などが話題になりました。

ベルト番組・報道番組も堅調! 編成理念は「ココロ、かよう。ヒト、つながる。」



「ZIP!」

月～金曜日 朝5:50～8:00放送



「ヒルナンデス!」

月～金曜日 11:55～13:55放送



「news every.」

月～木曜日16:53～19:00、金曜日17:00～19:00放送

生放送のベルト番組・報道番組も順調に伸びてきており、平成23年4月にスタートした「ZIP!」「ヒルナンデス!」はともにライバル番組を猛追し、夕方のニュース「news every.2部」も10月からの2クールで横並びトップの視聴率8.8%を獲得しました。

世帯視聴率だけではなく、男女13歳～49歳のコアターゲットの支持も伸びています。下期の2クールでは、全日帯・プライム帯・ゴールデン帯の全ての部門においてコアターゲットから高く支持され、震災後、

徐々に好調となったスポットセールスを支えてきました。

今年度は、加速する「メディア環境の変化」「視聴デバイスの進化」に対応すべく、「テレビがド真ん中!」という編成方針を継続しながら、引き続き“視聴率No.1”“生活者・クライアントからの支持No.1”“社会貢献度No.1”を目指し、新たに「ココロ、かよう。ヒト、つながる。」を編成理念として、タイムテーブルでの価値創造を行ってまいります。

映画

続々公開! 日テレMOVIE

映画事業は、スタジオジブリ作品「コクリコ坂から」が平成23年の邦画No.1の興行収入(44.6億円)を記録したほか、「ALWAYS 三丁目の夕日'64」「映画 怪物くん」「名探偵コナン 沈黙の15分(クォーター)」が興行収入30億円以上の大ヒット、「GANTZ PERFECT ANSWER」が28.2億円のヒットを記録しました。しかし、震災に伴う興行の不振の影響で、年度当初の計画値を下回る結果となりました。

平成24年度は、細田守監督のアニメーション映画「おおかみこどもの雨と雪」をはじめ、連続ドラマからの映画化である「映画 ホタルノヒカリ」「映画 妖怪人間ベム」等の強力ラインアップで巻き返しを図ります。



「コクリコ坂から」

スタジオジブリでは久々のリアリティ路線。
声優は長澤まさみ、岡田准一ほか。

©2011 高橋千鶴・佐山哲郎・GNDHDDT



「ALWAYS 三丁目の夕日'64」

オリンピックを控えた東京。
おなじみ夕日町的面々にも
人生の転機が訪れる。

©2012「ALWAYS 三丁目の夕日'64」製作委員会



「映画 怪物くん」

土曜ドラマからの映画化。
テレビに引き続き小中学生に圧倒的に
支持され大ヒット。

©藤子スタジオ、小学館/2011「映画 怪物くん」製作委員会



「GANTZ PERFECT ANSWER」

実写化不可能と言われた原作を
2部作で映画化。本作はその完結編。

©奥浩哉/集英社 ©2011「GANTZ,FILM PARTNERS

コンテンツ
イベント

通販事業は過去最高の売上を記録! 有料放送事業では、課金契約者数が増加!

通販事業は、3年連続で売上100億円を突破。過去最高の売上を記録し、キー局TV通販の売上No.1を維持しました。

ライセンス事業は、「それいけ!アンパンマン」の商品化権売上が順調で番組グッズも好評でした。番組グッズでは「ガキの使いやあらへんで!!」1/6アクションフィギュア、「世界の果てまでイッテQ!」カレンダー、「家政婦のミタ」バッグ、「妖怪人間ベム」サイダーなど多彩な商品が好評でした。DVDでは「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!!」第17弾が出荷10万枚、シリーズ累計350万枚を突破しました。

有料動画配信サイト「日テレオンデマンド」は、戦略的に作品を増やし、見逃し配信を強化しました。

また海外新規事業として、昨年5月に設立した台湾のケーブルテレビ中天電視との合併会社「黒剣電視節目製作股份有限公司」に対して、ドラマ「星の金貨」の台湾版リメイク権をライセンスし、全面支援を行っています。



「家政婦のミタ/エピソード・ゼロ」が大ヒット。朝の情報番組「ZIP!」から生まれた「MOCO'Sキッチン」も25万部突破。BS日テレ発のムック「ふらふら美術・博物館おさんぽアートブック」も好評です!



「日テレオンデマンド」で配信した「家政婦のミタ」は、これまでの日本テレビドラマ最高売上を記録しました。



「浜田フィギュア」「松本フィギュア」とともにイチゴ柄のパンツ付き!



かつての日テレの大ヒットドラマ「星の金貨」を台湾でリメイクした「白色之戀」。

イベント事業は、大型美術展として「レンブラント 光の探求/闇の誘惑」(平成23年3~6月・国立西洋美術館)と「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」(平成23年6~9月・国立新美術館)を開催しました。

「ワシントン・ナショナル・ギャラリー展」は約38万1,700人が来場しました。



有料放送事業は、地上波デジタル化に伴う3波共用受信機普及により視聴契約世帯が伸び、巨人主催全試合を完全生中継する「日テレG+」と、ニュース専門チャンネル「日テレNEWS24」の2チャンネル合計の課金契約者数が約1,070万件に増加。シーエス日本が運営する「日テレプラス」は、平成24年よりプロ野球ソフトバンク主催全試合の完全中継権を取得したことにより、課金契約者数がほぼ倍増の500万件を突破しました。



「日テレG+」

巨人主催全試合を平成24年も完全生中継！ますます目が離せません！

©YOMIURI GIANTS



「日テレプラス」

プロ野球中継 HAWKS Perfect Live 2012 ソフトバンクホークスの主催試合を完全中継します！

Copyright©Fukuoka SoftBank HAWKS Corp.All Rights Reserved.

デジタル
メディア

デジタル・メディア向けの数々のサービス。 今後も新しいテレビの見方を提案していきます！

スマートテレビの登場やソーシャル・ネットワーキング・サービス対応のため、平成23年12月、デジタル関連事業を集約する「メディアデザインセンター」が発足しました。

ホームページやメルマガ、データ放送、ソーシャル・ネットワーキング・サービスなどと番組が連携し、視聴率向上や収益の拡大を図ります。



「日テレゲーム」「ガキ使」「ニュース」「3分クッキング」
デジタル・メディア向けの数々のサービス。
今後も新しいテレビの見方を提案していきます。



「JoiNTV」

ソーシャル・ネットワーキング・サービスと連携した新サービス「JoiNTV」。米国Facebook社の技術協力により、世界で初めてデータ放送を活用し、同じ番組を見ている視聴者を、「友だち」として表示。

営業の概況

当連結会計年度における当社グループの連結売上高は、前年度に比べ75億6千5百万円増収の3,054億6千万円(前年度比+2.5%)となりました。

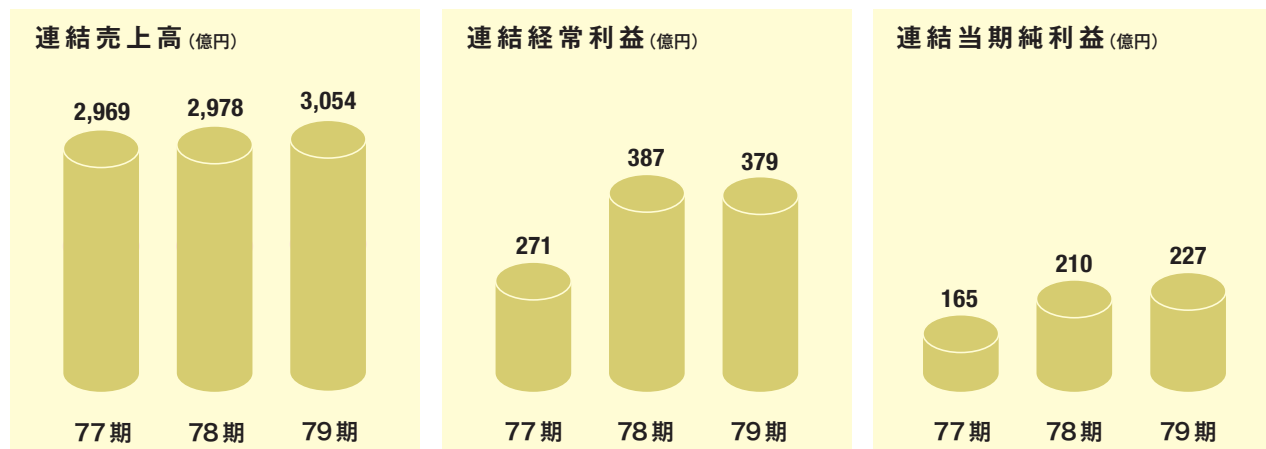
セグメント別にみると、コンテンツビジネス事業の売上高は3,004億2千4百万円(同+2.6%)となりました。このうちタイム収入は、レギュラー番組枠での収入の増加や「FIFA クラブワールドカップ ジャパン 2011」などの単発番組による収入により、1,088億5千8百万円(同+2.8%)となりました。スポット収入は、スポット広告費の地区投下量が前年を上回ったことに加え、平成23年の年間視聴率及び平成23年度の年度視聴率の三冠王獲得というプラス要因により、1,045億3千万円(同+1.2%)となりました。その他、番組販売等のコンテンツ販売収入や、映画事業等の興行収入が好調に推移しました。

不動産賃貸事業の売上高は、テナント賃貸収入をはじめとする不動産賃貸収入が順調に推移した結果、72億9千1百万円(同+0.4%)となりました。

その他の事業の売上高は、番組グッズショップ「日テレ屋」をはじめとする店舗運営などからの物品販売収入が、東日本大震災の影響による落ち込みをカバーするまでには至らず、26億1千8百万円(同△1.6%)となりました。

一方、費用の面では、コンテンツビジネス事業の増収に伴う営業費用の増加等により、2,732億1千万円(同+2.6%)となりました。

この結果、営業利益は322億4千9百万円(+1.8%)、経常利益は前年度計上した投資事業組合運用益の反動減等により379億2百万円(△2.1%)、当期純利益は前年度計上した投資有価証券評価損の反動等により227億2千9百万円(+8.0%)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	期別	前 期 末	当 期 末
		平成23年3月31日現在	平成24年3月31日現在
【資産の部】	流動資産	156,899	173,568
	固定資産	371,498	369,660
	有形固定資産	197,080	193,323
	無形固定資産	2,472	2,406
	投資その他の資産	171,946	173,930
	資産合計	528,398	543,228
【負債の部】	流動負債	70,487	65,789
	固定負債	30,414	31,401
	負債合計	100,902	97,190
【純資産の部】	株主資本	422,787	438,481
	その他の包括利益累計額	△ 3,841	△ 1,406
	少数株主持分	8,550	8,963
	純資産合計	427,496	446,038
	負債純資産合計	528,398	543,228

連結損益計算書

単位：百万円

科目	期別	前 期 当 期	期
		自平成 22年4月 1日 至平成 23年3月31日	自平成 23年4月 1日 至平成 24年3月31日
売上高		297,894	305,460
売上原価		199,166	205,259
売上総利益		98,728	100,200
販売費及び一般管理費		67,057	67,951
営業利益		31,670	32,249
営業外収益		7,357	5,827
営業外費用		325	174
経常利益		38,702	37,902
特別利益		17	121
特別損失		2,483	487
税金等調整前当期純利益		36,236	37,536
法人税等		15,044	14,374
少数株主損益調整前当期純利益		21,192	23,161
少数株主利益		143	432
当期純利益		21,048	22,729

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	期別	前 期 当 期	期
		自平成 22年4月 1日 至平成 23年3月31日	自平成 23年4月 1日 至平成 24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		23,433	25,273
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 28,181	△ 8,967
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 7,131	△ 6,419
現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 27	△ 8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 11,906	9,878
現金及び現金同等物の期首残高		45,218	33,312
現金及び現金同等物の期末残高		33,312	43,190

とう こん
橙魂 2012

当社は本年度、読売巨人軍のホームゲームを読売新聞社と共同で主催しています。橙魂デーと銘打った7試合では、チーム全員がオレンジ色のユニフォームを着用するとともに、内3試合は、来場した観客の皆様全員に、ユニフォームのレプリカをプレゼントしています。



ドーム全体が橙魂カラーに埋め尽くされた東京ドーム(プレゼントは既に2試合終了し、残るは7月12日の広島カープ戦のみです)

会社情報

(平成24年3月31日現在)

会社の現況

商号	日本テレビ放送網株式会社
設立	1952(昭和27)年10月28日
資本金	185億7,599万7,144円
主な事業内容	放送法による基幹放送事業及び一般放送事業 放送番組の企画、製作及び販売 その他放送に関連する事業
主な営業所	本社 東京都港区 関西支社 大阪市北区 名古屋支局 名古屋市中区

株式の状況

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	25,364,548株 (自己株式598,686株を含む)
当期末株主数	38,315名
大株主	

	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1	株式会社読売新聞グループ本社	3,764	14.8
2	読売テレビ放送株式会社	1,574	6.2
3	株式会社読売新聞東京本社	1,363	5.3
4	シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	970	3.8
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	962	3.7
6	シービーニューヨークオービスファンズ	938	3.7
7	学校法人帝京大学	897	3.5
8	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	883	3.4
9	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	760	2.9
10	株式会社リクルート	645	2.5

取締役・監査役 (平成24年6月28日現在)

代表取締役社長執行役員	大久保好男	取締役	渡邊恒雄
取締役常務執行役員	渡辺弘	取締役	前田宏
取締役常務執行役員	小杉善信	取締役	堤清二
取締役常務執行役員	丸山公夫	取締役	今井敬
取締役執行役員	片岡朋章	取締役	佐藤謙
取締役執行役員	小松伸生	取締役	垣添忠生
取締役執行役員	桜田和之	常勤監査役	務台猛雄
取締役最高顧問	細川知正	監査役	能勢康弘
		監査役	加瀬兼司
		監査役	白石興二郎
		監査役	望月規夫

「大震災、その後」と社会貢献活動

24時間テレビの活動

24時間テレビ・チャリティー委員会では、昨年末、この震災で親を失った子供たちのために役立てていただくよう、岩手・宮城・福島の3県にそれぞれ1億円を贈呈しました。

また、「24時間テレビ」福祉車両の贈呈は全国で176台、この内、大震災被災地へは、岩手県26台・宮城県25台・福島県16台・千葉県で2台となり、3月末までにそれぞれ贈呈式が行われました。

この他、「24時間テレビ」では、全国23か所で地域の団体などと連携して清掃活動を実施し、9,400人を超えるボランティアにご協力いただきました。

よみひと知らず



当社と被災各県の地元局アナウンサー、キャスターによる「よみひと知らず」は2月までに5回を数えました。

宮城県女川市を訪問した樹太一アナウンサー。

ECO活動



本年3月には地元港区が実施する美化活動に、日テレ・エコ事務局メンバーなどが、新橋地区の企業・自治体からの参加者とともに取り組みました。

港区芝地区のキャラクター「芝次郎」と一緒に清掃活動!



東京スカイツリーに行くダベア! 日テレ at 東京スカイツリー®

©TOKYO-SKYTREE

CLOSE-UP

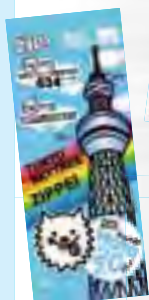
平成24年5月22日、東京スカイツリーがグランドオープンしました。高さ634m、世界に誇る電波塔(送信所)です。現在、日本テレビは平成25年初頭に予定される東京タワーからの送信切り替えに向け、受信状態の調査や設備調整を進めています。

日テレグッズも販売中!

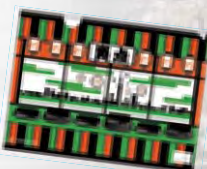
©AMI



「東京スカイツリータウン」のテレビエンタテインメント・オフィシャルストア”Tree Village”では、日本テレビのグッズや関連商品も販売しています!



「ZIPPEI
×東京スカイツリー」
ふわふわマシュマロ



「笑点×東京スカイツリー」
クリアフォルダ



「そらシロー
×東京スカイツリー」
ぬいぐるみ

©NTV
©TOKYO-SKYTREE

東京スカイツリー

高さ 634m
天望回廊 450m
天望デッキ 350m

東京スカイツリー
天望回廊

東京スカイツリー
天望デッキ

天望シャトル

とうきょうスカイツリー駅

ウエストヤード

イーストヤード

FPU受信基地



NEW
技術!

FPU受信アンテナが入っているドーム。415mと420mに設置。FPU波の光伝送による遠隔受信システム搭載。中継電波受信で威力を発揮します。保守性や安全性も向上。

エコな送信所



NEW
技術!

安定性の高いシステムを構築した「エコな送信所」。省エネタイプの新型送信機を設置。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先) 〒168-0063東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

単元株式数 10株

公告の方法 読売新聞に掲載する。

株式に関する
お手続き

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。
なお、証券会社等に口座がないため「特別口座」が開設されました株主様は、「特別口座」の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」
について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、
租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料として使用することができますので、
確定申告を行う株主様は大切に保管ください。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様
につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。
確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引
の証券会社にご確認をお願いします。



日本テレビ放送網株式会社

〒105-7444 東京都港区東新橋一丁目6番1号

<http://www.ntv.co.jp>



Forest Stewardship Council™ (森林管理協議会)の基準に基づき認証された、適切に管理された森林からの原料を含むFSC認証紙を使用しています。
水なし印刷方式を採用するとともに、NON VOCインキを使用しています。

2012年も見逃せない! 日テレMOVIE Coming Soon!

東宝系
全国ロードショー
2012年
10月6日(土)
公開!!



ツナグ

死んでしまった人にもう一度だけ会えるとしたら、
あなたは誰に会いたいですか？

“本当に大切なものは何か”を
問いかけるヒューマンエンターテインメント大作
<http://tsunagu-movie.net>

©2012「ツナグ」製作委員会

東宝系
全国ロードショー
2012年
冬公開!!



映画 妖怪人間ベム

「早く人間になりたい」

ベム・ベラ・ペロがスクリーンで蘇る!

©2012「映画 妖怪人間ベム」製作委員会